

群馬県国際理解教育研究会だより

～ぐんまグローバルセミナー2025～

2026年2月14日、Gメッセ群馬にて「ぐんまグローバルセミナー2025」が開催されました。本セミナーは群馬県国際理解教育研究会とJICA群馬デスクが共同で年3回開催しており、今回は海外での教育活動を経験された4名の先生方による、熱意あふれる実践報告が行われました。

世界の教育現場から:タンザニア・オランダ・イギリス



タンザニア JICA教師海外研修 有賀 早也香 先生・田中 利奈 先生

有賀先生と田中先生からは、タンザニアの歴史や今なお続く男性と女性の格差など、また、1クラス100人も的人数で学ぶ子どもたちの姿が語られました。

そして、有賀先生は、中学1年生に対して、人々の「生きがい」に焦点を当て、タンザニアの文化や日本の伝統技術（宮大工）を取り入れた学習活動の実践を報告しました。

また、田中先生は、小学5年生の総合的な学習の時間でSDGsを取り上げ、自分がタンザニアに暮らす子供だったら、「学校に通う？通わない？」という問いから、児童が自分事として世界の現状を考える授業の実践を報告しました。



オランダ ロッテルダム日本人学校 石田 睦 先生



石田先生からは、国土の1/4が海拔0m以下という環境で、多民族・多文化が共生するオランダの様子が報告されました。ハンガリーの子どもたちと「空」を共有するリアルタイム遠隔授業の実践などを紹介しました。また、欧州各国の歴史や文化に触れ、それを日本の授業（1年生チューリップや3年生スーパーマーケットの学習）へ還元する工夫などと共に、勇気を出してトライすることの大切さが語られました。

イギリス ロンドン日本人学校 奈良 雅裕 先生



奈良先生からは、サッカーやラグビー発祥の地・ロンドンでの日本人学校の様子が語られました。200以上の言語が飛び交い、LGBTQ+のパレードが行われるなど多様性にあふれるロンドンの魅力について紹介しました。また、英国教育水準監査局による厳格な評価に対応するために、日本と英国の教育を融合させる「仕組み」作りの重要性を説明しました。

日本人学校に関心のある先生向けの『相談会』も行われました。海外での生活の様子や、仕事の楽しみややりがい、大変さなどについて、日本人学校経験者の先生方が温かな雰囲気の中で、ていねいに説明していました。

